さくら新聞

～笑顔ｄｅ共育て～

平成28年11月1日発行
石神井町さくら保育園
〒177-0041
練馬区石神井町7－25－45
TEL　3997-0070
FAX　3997-0972

主題
秋の自然にふれよう
今月の保育のねらい
・秋の自然の中で木の実や木の葉であそぶ
・季節の変化や自然の美しさを知る

霜月は青い空

「柿色」に輝く晩秋

先月は、季節外れの暑さの日もあり、日本列島全体を見ていると夏と初冬が同居しているような時期もありましたが、霜月に入り、ようやく気温が落ち着き、澄み渡った青い秋空が広がることでしょう。

24節気の18番目にあたる節気の『霜降』は、秋を表す季語になっています。『霜降』とは、字のごとく霜が降りるころの意味ですが、暦の上では『立冬』を迎えるまでの頃を示します。カエデやツタが紅葉し始め、列島が北から順に赤色に染まっていく晩秋です。

保育園の園庭の柿も太陽に輝き、甘さも格別になりました。

これからどんどん日が短くなり、晩秋が色濃く感じられ、コートの出番になりそうです。

季節の変わり目を感じる瞬間というのは多々ありますが、子どもの頃、落ち葉を踏みしめたり、朝の道路に霜が降りているとザクサクとした音を楽しみながら通学していたことを思い出します。今月も、子どもたちが、五感を感じて豊かに生活できるように配慮するとともに、一人ひとりの健康に十分留意して、保育をしていきたいと思います。

「伝えること」と「伝わること」

何かを人に伝えることの難しさを感じることが度々あります。

「伝」は元々「傳」と書きます。

「亻(人)」＋「專」です。

そして「專」は、袋に詰めた物を右手で持っている形です。

「袋に詰めた物を右手で持って、人に渡す」ところから「運ぶ」→「伝える」の意味になったようです。

「伝」を辞書で調べると、つたえる・つたわる・ひろめる・いいつたえ等という意味が綴られていますが、伝えること と 伝わること は全く違います。

思い込みで、物事を捉えてしまったり、伝えた**つもり**でも十分な説明になっていなかったりすることもあり、反省することも多いです。

今後も、保育の内容だけでなく、お知らせなども保護者の皆様に伝わるように伝えていく努力をしていきたいと思います。

中間反省の巻

11月　行事予定

日	曜日	内　容
1	火	秋の遠足（3・4歳児） 光和小学校お手伝い探検（2年生）
4	金	光和小学校との交流（5歳児）
5	土	さくらエイド
7	月	うんどうあそび（幼児）
8	火	身体計測・おはなし会（幼児）
9	水	身体計測（乳児）避難訓練
10	木	アートくらぶ（3歳児）
18	金	アートくらぶ（4歳児）
21	月	うんどうあそび（幼児）
22	火	0歳児健診
24	木	歯科検診（全園児）
24～25	木･金	大泉中学校職場体験
29	火	大きくなったね会総練習

①2・9・30日⇒さくらんぼくらぶ
②2・30日⇒家庭的保育者受託児のふれあいランチ
③9日⇒さくらんぼくらぶふれあいランチ

ぜひ、クラス便りをお読みください

9月の園内研修で、早稲田大学教授の前橋明先生に「子どもの生活・睡眠・運動について」の講演会をしていただきました。具体的でわかりやすい内容で、職員は得るものがたくさんあったようです。

各クラスが、共感した内容をクラスのページに記載していますので、どうぞ、目をとおして下さいますよう、よろしくお願いします。

お知らせ

①年末保育の締切は11月30日
②次年度より0歳児の受け入れは、100日目からに引き下がります。

お願い

①緊急時に使用するための『練馬区保育園連絡メール』の利用登録率が低い状態ですのでまだの方はぜひ登録をお願いします。